

大切な足、いつも支えてくれてありがとう、

私は12月、右足にじん帯損傷という、  
けがをしました。そして一ヶ月間、松葉づえを使って  
移動する生活になりました。

家や教室は二階なので階段を登らなければ  
なりません。ふたんは何も感じなかったのに、  
うでも痛み臭苦しくなりました。

私はその時、足の大切さに気づきました。  
ギブスがとれた時は風船みたいに心も体も軽く  
感じました。

久しぶりに行ったスイミングスクールのレッスンはいつも  
きついのにクロールのバタ足が気持ちよかったです。  
けがをしている時はどこにも遊びに行けず、

楽しくありませんでした。

歩けるってあたり前のことだと  
思っていたけれど、  
何より幸せなことだと思います。

私の足、今日も  
ありがとう

正木 あんなお

